

# CAMPUS HEALTH

2026.3

63 (1)

第63回全国大学保健管理研究集会  
(福島大学) 報告書



Japan University Health Association

## 第63回

# 全国大学保健管理研究集会

The 63rd Annual Meeting of Japan University Health Association

未来を切りひらく大学保健管理～これからの役割と課題

## プログラム・抄録集

会期：2025年9月10日（水）・11日（木）

会場：けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）

主催：公益社団法人 全国大学保健管理協会／国立大学法人 福島大学

後援：文部科学省

# 目 次

第63回全国大学保健管理研究集会 ごあいさつ	3
第63回全国大学保健管理研究集会 運営委員長 三浦 浩喜	
第63回全国大学保健管理研究集会 運営副委員長 谷 雅泰	
第63回全国大学保健管理研究集会 運営副委員長 片山 規央	
<b>I. プログラム</b>	
日程表	5
<b>II. 開会式</b>	8
<b>III. 講演プログラム</b>	10
<b>IV. 特別講演</b>	
1 東日本大震災後の県民健康管理等について -福島県「県民健康調査」から-	安村 誠司 15
2 先端技術が実現する「より良い医療のかたち」	大山 訓弘 16
3 スマートフォン CBT アプリ「レジトレ!®」 : ポケットにあなた専用セラピスト	古川 壽亮 17
4 ストレス社会における心身医療の重要性 ~東日本大震災での災害医療支援を通して~	鈴木 順 18
5 「海外からの留学生、海外へ行く学生」に配慮することは?	町田 宗仁 19
<b>V. ACHA 特別招聘講演</b>	
1 Supporting Student Success: How College Health Professionals Can Promote Wellness Beyond Borders	Andreea Baker 21
<b>VI. 教育講演</b>	
1 自閉スペクトラム症 (ASD) の診断と治療・支援の実際 (精神科医の立場から)	増子 博文 24
<b>VII. パネルディスカッション</b>	
1 健康増進や組織運営に DX を活用した取り組み	石見 拓、今田 恒夫、北 浩樹、角田 洋一 26
<b>VIII. 学生シンポジウム</b>	
1 学生参加で目指すヘルシーキャンパス	立崎 優太、渡邊 真菜、中村 早希、長谷川雄紀、佐藤 愛子、 廣瀬 直美、門井 里奈、高久 春花、柳澤 愛華、米沢 奏夢 31
<b>IX. 一般研究発表</b>	
優秀演題発表	37
一般研究発表	38
<b>X. 賛助会員</b>	212
<b>XI. 閉会式</b>	214
<b>XII. 名簿</b>	
第63回全国大学保健管理研究集会 運営委員会委員・幹事名簿	216

## ご 挨拶

このたび、令和7年9月10(水)、11日(木)の2日間の日程で、第63回全国大学保健管理研究集会を福島県郡山市にて開催する運びとなりました。

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学の保健管理施設で勤務する教職員が年に一回、一堂に会して二日間にわたり大学における保健管理に関する調査・研究の成果を発表し、保健管理における日常業務に役立つような研修・啓発を互いに行って意見交換する研究集会です。テーマはフィジカルヘルス、メンタルヘルスから障がい者支援、学生支援、健康教育、予防医学、学生・教職員の安全衛生管理など、多岐にわたります。大学キャンパスにおける学生、教職員の心身の健康維持はもとよりウェルネス向上のために、さらには大学内にとどまらず国民全体が享受できるような最新の医学情報を含めた全年齢層の保健管理に寄与する医学的知識のブラッシュアップと広い医学領域における学術研究の発展を目指したいと考えています。

近年の医学や科学技術の発展、AIの普及、新しい感染症、度重なる災害など、大学を取り巻く環境の変化は、ますます速度を増しているといえます。そこで今回は、「未来を切りひらく大学保健管理～これからの役割と課題～」というテーマといたしました。本集会では、大学保健管理の現状と課題を振り返りつつ、未来に向けた新たな取り組みや方向性について、様々な専門家の皆様と共に、議論を深めて参りたいと存じます。これからの保健管理の在り方を模索し、大学が提供できる医療、支援、研究、社会貢献の在り方など、より一層の発展を目指していく所存です。皆様方のご協力、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

半世紀以上にわたる本研究集会ですが、福島県で開催させて頂くのは今回が初めてとなります。福島県は風光明媚で、海の幸、山の幸も豊富です。お時間のある方は、これを機に、福島の食や観光もお楽しみ頂けますと幸いです。是非とも全国から多数の皆様が福島県にいらして頂くことを心より願っております。

令和7年8月吉日



運営委員長 三浦浩喜



運営副委員長 谷 雅泰



運営副委員長 片山規央